

2017/05/01

団体名：我孫子そばの会 代表者：星崎 輝夫（会長）1947 生れ
連絡先：090-5197-4847



会員数：51名（会長含む）内有段者約80%

入会金：2,000円

年会費：1,000円

参加費：@500円（例会使用のそば粉は、会からの購入が条件）

例会の参加費は1,500円（有段者そば粉1kg、無段者700gを含む）

粉の斡旋：並粉・粗挽き共1,000円、有段者1kg（二・八）・無段位700g（外4）

：打ち粉 1kg：600円

：つなぎ粉 1kg：300円

：練習粉・幻 1kg：600円

：練習粉・利平 1kg：600円

研鑽場所



1、将門そば打ち道場（6名同時にそば打ち可能）

住所：我孫子市日秀112 30台以上駐車可

活動日時：毎月 第2木曜・第4水曜（9時～17時）

打ち台・木鉢は常設完備、その他機材は個人で持込み

例会以外での道場使用は2名以上とし、そば粉の持込みは自由

利用料金：我孫子そばの会会員は1,000円

：非会員（会員同伴時）1,500円

：将門道場の賛助会員 500円

2、布佐南近隣センター 調理室（7名同時にそば打ち可能）

住所：我孫子市布佐平和台4-1-30

活動日時：毎月 第1日曜（9時～17時）

打ち台・木鉢などは都度持込み

近隣センターへは15名ほど参加

質問：クラブの歴史（設立の経緯など・・・）

「そば工房あびさ」を山本氏が15年ほど前に立ち上げ、5年前に「我孫子そばの会」に改名し星崎氏が会長に就任し現在に至る。

質問：現在の活動などについて

1、月3回の例会活動（将門道場で2回（平日）、近隣センターで1回（日曜））

2、地域貢献活動

①老人ホームへの慰問（昼食の蕎麦提供）年3回（1回130食提供）

（デモ打ちも行い調理場で茹で盛付けを行い、材料代のみで提供）

②将門神社へ例大祭の日に奉納そば打ち

③ケアハウスへのそばの提供（切りの体験もあり）

④我孫子の新そば祭りに出店（地産地消）

休耕地を借りそば栽培を有志15名ほどでやっています。

⑤地域の子供会（育成会）でのそば打ち体験教室の開催予定

⑥近隣センター主催のそば打ち体験のそば打ち指導をしています。

3、有志によるそば店食べ歩き（最近の食べ歩き→慈久庵・もみじ庵）



質問：これからの活動について

「そば工房あびさ」では、毎回昼に賄そばを食べていましたが将門道場に来てから少ないので、来月から月1回くらいは、昼は打ちたてのお蕎麦を食べようという方向に・・・。

将門道場独自の段位認定制度を作りレベルの向上に努めたい
東日本の支部対抗にも出来れば参加しようと思っています。
全麺協の正会員になって全麺協公認の「将門そば打ち道場」
開場を目指しています。



質問：推進協に臨むこと等

会員の交流会があった方が良いのかと又、必要と思います。

クラブ会員への呼びかけが必要と考えます。

推進協で、そば祭りへの参加をしてPR出来たらと考えています。



その他

千葉そごう催事場での生蕎麦の販売

運営委員会の中で期間中の応援人員募集をするという方向になっています。

茹でる場所などは、我々のグループには貸せないそうなので、デモ打ちをして（1か所だけ確保）畳2～3枚の狭いブースで生蕎麦の販売のみ行う方向で進んでいます。

（並み粉の二八）イベントをやれば仲間意識も深まるのかなと思っています。



集合写真